

ものづくりを行う企業を支援する 製品開発支援ラボ

都産技研では、都内中小企業の製品開発を支援するため、製品開発支援ラボを本部に19室、多摩テクノプラザに5室設置しています。製品開発支援ラボは、24時間利用できる賃貸スペースで、本部には入居企業が利用できる化学実験室や試作加工室を備えています。また、本部と多摩テクノプラザには、それぞれラボマネージャーがおり、都産技研の利用や製品開発に関する相談に対応しています。入居にあたっては、開発を予定している新たな製品や技術があることが要件となり、対象は中小企業または起業の予定がある個人です。入居期間は3年以内ですが、開発状況によって最大5年まで延長できます。



試作加工室
さまざまな工作機器を利用して、試作を行います



ラボ交流室
入居企業同士の交流や打ち合わせスペースとして利用できます

入居企業の紹介 1

製品開発支援ラボ入居により次世代カメラ開発を加速

カムイ・イノベーション株式会社



代表取締役社長 CEO
増田 孝氏

デジタルカメラの画像処理技術の研究開発を行うカムイ・イノベーション(株)は、平成26年に本部の製品開発支援ラボに入居し、東京技術センターとして次世代カメラ技術の開発を行っています。これまでのカメラは、人が見ることを前提に、いかに撮影した画像を補正して美しく表現するかを追求し、解像度やS/N比・色再現の性能向上にしのぎを削ってきました。しかし、画像から情報を読み取り、判断するAI機能を備えたロボットや現場の状況を正

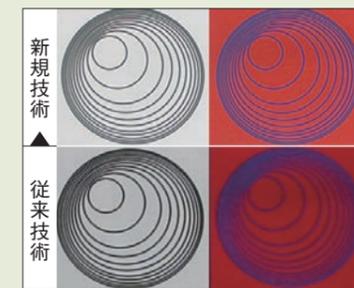
確に知り、治療を行うための遠隔治療用の医療カメラなどでは、目で見ただまの状態を忠実に再現できるカメラが必要とされています。そこで、カムイ・イノベーション(株)では、独自の“高忠実画像生成技術”を搭載したカメラを開発しました。

「都産技研には、環境試験やEMC試験などを実施できる設備が整っており、移動時間のロスがなく、スピーディーに開発を進めることができました。このほかにも試作加工室などを活用して、強い光源などの影響による白とびを軽減する“ゴースト・フレア軽減技術”、従来のパノラマ撮影技術では困難だったつなぎ目が自然な360度撮影を可能とする画像合成技術などの開発を進めています。

資金力に乏しい中小企業にとって、さまざまな試験設備や試作のための機器がそろった都産技研の製品開発支援ラボに入居するメリットは計り知れません。

入居して3年が経ち、今後はロボットの目として、正確な視覚情報を捉えるカメラの開発に取り組みたいと考えています」(増田氏)

研究開発紹介



従来機種が苦手としていた幾重もの円を見たまに再現



ゴースト・フレア軽減技術によりフレアが取り除かれる

24時間利用可能な製品開発支援ラボ ラボマネージャーが入居企業を全面サポート

ラボマネージャーは、製品開発支援ラボの入居企業が効率的に研究開発・技術開発を行えるよう総合的にサポートするコンシェルジュ的存在です。各企業の研究開発を把握し、さまざまな相談にスムーズに対応できるように心がけています。都産技研の職員によるサポートだけでなく、相談内容によっては、(公財)東京都中小企業振興公社などの機関からも支援を得られるよう橋渡し役も行います。入居企業から寄せられた相談には、ベストを尽くして対応していきますので、積極的にラボマネージャーを活用して、課

題解決に役立ててもらいたいと考えています。

今後は、入居企業と都産技研の共同研究を促進していくほか、企業同士の交流にも積極的に取り組んでいきます。入居を検討する段階でも、お気軽にご連絡ください。



ラボマネージャー
榎本 博司

入居企業の紹介 2

共同研究で航空機産業参入を目指す

株式会社名取製作所



代表取締役社長
名取 秀幸氏
経営企画グループ 主幹
田中 光一氏

プレス加工技術に優れる(株)名取製作所は、自動車のワイパーのアーム部品を主に製造しています。航空機産業への新規参入を目指して、製品開発支援ラボに今年6月に入居し、研究開発の拠点となる湾岸ラボとして活用しています。これまで本業で培った緻密な設計・加工技術の強みを活かし、新たにチタン合金の加工に取り組んでいます。

「テレビで障がい者スポーツの番組を観たことをきっかけに、チタン合金の加工技術を活用して、新たにスポーツ義足のパーツ製造にも取り組んでいます。当初は手探りでしたが、実際に義足を利用するアスリートの意見も取り入れて開発を進め、義足を提供した山本 篤選手がリオデジャネイロで開催されたパラリンピックの男子走り幅跳びで銀メダルを獲得されました。都産技研の設備を利用して義足パーツの評価を行い、最終調整ができたことで自信を持って使ってもらうことができました」(名取氏)

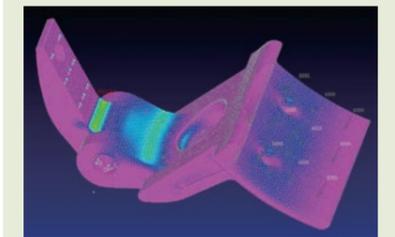
「入居してまだ日は浅いですが、都産技研の設備などを利用しながら研究開発を加速させていく計画です。研究開発にあたって、ラボマネージャーに気軽に技術や試験について相談できることも大きなメリットとなっています。相談内容に応じて幅広い対応分野から適切な部

署を紹介してもらっています。今後は、共同研究にも取り組み、航空機産業への参入を目指していきます」(田中氏)

研究開発紹介



チタン合金製のスポーツ義足パーツ



有限要素法解析を用い、義足パーツの設計強度比較で評価

お問い合わせ 製品開発支援ラボ<本部> TEL 03-5530-2315